

北原リハビリ病院をリニューアル

新棟完成 12月10日に内覧会とフェス

左入町
人と自然と技術が調和
農園、牧場、温泉も



滝山街道沿いにある北原リハビリテーション病院（左入町）がリニューアルオープンする。新棟ができた農園や牧場、温泉やレストランも設けられ、自然に囲まれた環境でリハビリテーションを提供していく。またAI（人工知能）を導入し「質の向上」に力を入れる。運営する医療法人社団KNI（大和田町）は12月10日（日）、新棟内覧会と「新しいリハビリ病院の体感」ができる「イベント「北原フェス2017」を開催する。



求人情報
「社会に近い環境」
看護師等募集

北原リハビリテーション病院では増床に伴い現在スタッフを募集している。今回は7年前から同病院に勤務する看護師の安藤郁子さん（写真）に、働き甲斐などを聞いた。

「脳神経外科のことをもっと知りたい」と、勉強になる環境を探し、他の病院から移った。「ここは次から次へと新しいことが生まれる。楽しくて仕方がない。グール」と呼ばれています。今回のヒーリングファシリテーションのオープン（北原リハビリ病院のリニューアル）は、日本をブルーゾーンにする動きのスタートにできたらと思います」と話している。



「求人情報」看護師、介護士、リハビリサポーター、ライフサポーターは食事の配膳や患者さんの移送など介護技術を要さない職種です。短時間勤務が可能など働きやすいので、病院でのお仕事に興味がある方は是非チャレンジしてみてください。▼詳細は北原国際病院採用担当 ☎042・645・1356へ。

医療法人社団KNIは「カンフリア宮殿」「ガイアの夜明け」などのテレビ番組への出演でおなじみの北原茂実氏が理事長を務める。グループには北原国際病院（大和田町）、北原ライフサポートクリニック（安町）などがある。

シオン病院は「人と自然と技術の調和」をコンセプトとした新しい癒しの空間をめざす。リハビリは短い入院期間での「高い回復率」を目標に掲げる。病床数は110となる。

新棟はヨーロッパの街並みと思わせる外観で、温泉上もめざす。先端のIoT

北原リハビリテーション病院

北原氏
ヒーリングファシリテーター
「病院に代わる『癒しの場』」

新しい北原リハビリテーション病院は2004年に開院。現在75床の規模で脳血管疾患の患者を中心にリハビリを提供している。

棟も併設される。今後牛や羊を育てる牧場や農園も設けられ、「自然と触れ合える」環境を詰め込んだ病院となる。担当者は「すべて患者の効率化を展開していく」。

システムが管理し、セキュリティに顔認証システムを採用する。臨床場面でもIoTによる業務の適正化、効率化を展開していく。

代わる癒しの場「ヒーリングファシリテーター」と位置づける。北原氏は「健康寿命が長く、元気に働く高齢者が多い地域は『ブルーゾ

「病院の内覧会、フェスと思わずに来ていただきたいです。担当者がそう話すのは両イベントが既存のものとの線を画し、そこに「驚きや発見」が多いから」。

北原リハビリ病院のリニューアルに伴う、北原フェスは12月10日（日）午前10時から午後4時30分まで。新棟内覧会は1時から4時30分まで、いずれも入場無料（申込み不要）。「未来の医療、八王子からスタート」をテーマに、先端医療の展示から「動物園」、八王子・海外特産品の販売など様々な催しが用意されている。

ステージ、ブース30団体参加

メインステージでは大学管弦楽団、太鼓、バンドの演奏、ロボットコンテストのアイデア発表などがある。出店ブースでは50㎡の規模という移動動物園、グールが病院を展開するカンボジア、展開を計画しているベトナム、ラオス、宮城県の物産展がある。脳卒中患者体験会も受けられる。また「食フェス」と題し、シフォンカフェ「ボンム」（明神町）「パーゼル洋菓子

「未来の医療」がわかる 地元グルメも

「未来の医療」がわかる 地元グルメも

「未来の医療」がわかる 地元グルメも

「未来の医療」がわかる 地元グルメも



医療法人社団KNI 北原茂実 理事長

「新くなるリハビリ病院から『医療をツールとした社会改革』を発信していきたい」

1953年神奈川県生まれ。1979年東京大学医学部卒業。1995年、東京都八王子市に北原脳神経外科病院（現・北原国際病院）を開院。救急・手術から在宅・リハビリテーションまで一貫した医療を提供すべく、現在は医療法人社団KNIとして八王子市内に4施設、宮城県東松島市に1施設を運営する傍ら日本の医療・社会を救うため、医療の海外展開やICT技術を活用した新たなシステムの開発など革新的な取り組みを行う。2015年一般社団法人医療みらい創生機構を設立し代表理事に就任。2016年カンボジアに救命救急機能を持つサンライズジャパンホスピタルを開院。2017年にはベトナム・ラオスへの進出も開始している。著書に『「病院」がトヨタを超える日』『あなたの仕事は「誰を」幸せにするか?』などがある。



北原国際病院



初開催となった昨年の様子。それまで入院患者とその家族らを対象にしていた「病院のお祭り」を一新、「一般来場」も歓迎した

「未来の医療、八王子からスタート」をテーマに、先端医療の展示から「動物園」、八王子・海外特産品の販売など様々な催しが用意されている。

ステージ、ブース30団体参加

メインステージでは大学管弦楽団、太鼓、バンドの演奏、ロボットコンテストのアイデア発表などがある。出店ブースでは50㎡の規模という移動動物園、グールが病院を展開するカンボジア、展開を計画しているベトナム、ラオス、宮城県の物産展がある。脳卒中患者体験会も受けられる。また「食フェス」と題し、シフォンカフェ「ボンム」（明神町）「パーゼル洋菓子

「未来の医療」がわかる 地元グルメも

「未来の医療」がわかる 地元グルメも

「未来の医療」がわかる 地元グルメも

「未来の医療」がわかる 地元グルメも

医療法人社団KNI

北原リハビリテーション病院 リニューアルオープン

新棟が完成 12月10日(日)内覧会とフェス

新棟ではAI(人工知能)やAR(拡張現実)などの先端技術を使用して、医療の質の向上と業務の効率化をめざします。病院敷地内には牧場や農園など自然と触れ合える環境と患者様に楽しんで頂くためのレストランや温泉棟も用意しております。

内覧会では開発途中のシステムも展示し「未来の医療」を体感できるようご用意させて頂いております。

※新棟のイメージパース

参加無料

新棟内覧会・北原フェス2017のお知らせ

12月10日(日)に、北原リハビリテーション病院新棟内覧会を開催します。内覧会では新棟に実装される設備から今後、開発・導入を予定しているシステムまでを大公開。内覧会を行っている新棟の外でも、新しいリハビリテーション病院を体感できるイベント「北原フェス2017」も同時開催します。ぜひ、新しいリハビリテーション病院を体感しに来てください！*当日はJR八王子駅北口から無料の送迎バスがあります

短い入院期間で高い回復率を目指すリハビリテーション

北原リハビリテーション病院では、脳血管疾患の患者様を中心にリハビリテーションを提供しています。新しい病院では、農園や牧場、温泉やレストラン、自然に囲まれた環境に加え、リハビリテーション評価や治療のデータをAIが解析し支援してくれる「リハビリアシストシステム」の開発による質の向上を目指します。

病院のイメージを一新する癒しの場

リニューアルするリハビリテーション病院は、ヨーロッパの街並みと思わせる病院外観や敷地内の風景、病院に併設される温泉棟、牛や羊などの牧場や農園、温泉があり、自然と触れ合える環境を詰め込んだ病院になります。全て、患者さんが動くモチベーションを高めることを目的としており、リハビリテーションに活用していきます。

これまでなかった!先端技術を用いた医療を展開!!

新しいリハビリテーション病院は、全てが先端のIoTシステムにより管理されています。病院で課題が多いセキュリティに顔認証システムを採用し、臨床場面でもIoTによる業務の適正化、効率化を目指します。オープン時に実装するもの以外に、実用段階ではない技術も実証的に使用し、システム開発にも取り組んでいきます。

電車・バスでアクセスの方
●JR八王子駅北口から(12番乗り場)
●京王八王子駅南口から(4番乗り場)11時
間から3時45分まで行きの山手線有明
線由戸駅行き、又はひびきの山手線有
明線由川崎行き乗車→湯の森駅八王子
山下下車(所要時間約10分)→北原リハ
ビリテーション病院まで徒歩約15-20分

村内ファニチャーアクセス
中央道 八王子IC
↓JR八王子駅

医療法人社団KNI

北原リハビリテーション病院

診療科
リハビリテーション科

☎042-692-3332

八王子市 左入町461

リニューアルオープン・北原フェスに関する問い合わせ

北原国際病院 八王子市大和田町1-7-23 ☎042-645-1356